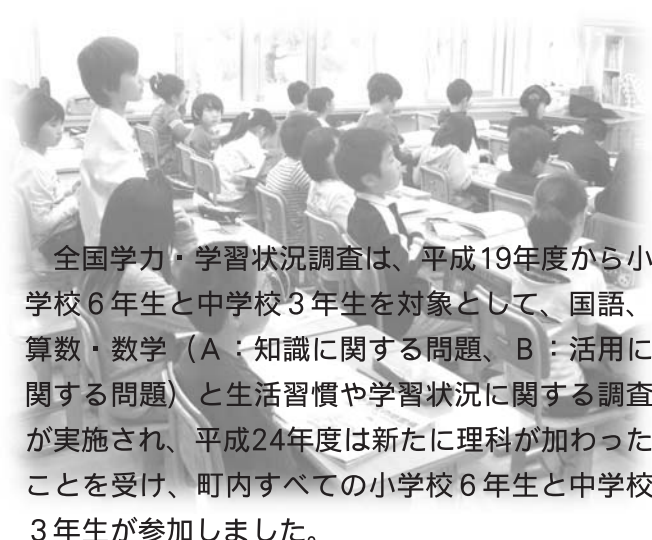


# 平成24年度 全国学力・学習状況 調査結果を受けて



全国学力・学習状況調査は、平成19年度から小学校6年生と中学校3年生を対象として、国語、算数・数学（A：知識に関する問題、B：活用に関する問題）と生活習慣や学習状況に関する調査が実施され、平成24年度は新たに理科が加わったことを受け、町内すべての小学校6年生と中学校3年生が参加しました。

南部町では、平成19年～21年の3年間の全国学力・学習状況調査の結果を受け、課題を明確にし、その課題解決に向けた取り組みを行ってきました。今回の調査は、その取り組みについての成果と課題を振り返るとともに、南部町の児童生徒の実態についてまとめたものを報告します。(写真と本文内容は関係ありません)

教科に関する調査結果 (平均正答率：%)

区分		南部町	鳥取県	県との差	全国
小学6年生	国語A(知識)	81.1	83.2	-2.1	81.6
	国語B(活用)	51.2	56.2	-5.0	55.6
	算数A(知識)	69.7	72.8	-3.1	73.3
	算数B(活用)	54.0	57.3	-3.3	58.9
	理科	58.9	59.6	-0.7	60.9
中学3年生	国語A(知識)	72.2	76.0	-3.3	75.1
	国語B(活用)	60.8	65.2	-4.4	63.3
	算数A(知識)	63.6	64.0	-0.4	62.1
	算数B(活用)	46.4	49.5	-3.1	49.3
	理科	49.9	52.4	-2.5	51.0

## 教科に関する調査結果より

### ■小学校6年生

#### 【国語】

#### ◆3年前の課題

・基礎的な知識・技能の育成  
・「表現(発表)する」「長い文章を読み理解する」力の育成

#### ◆成果と課題

基礎的な知識・技能である「話す・聞く」といった領域では、全国、県の正答率を上回っ

ているなど、その力が定着しつつあります。

一方、「目的や意図に応じて、必要となる事柄を整理して簡潔に書いたり、自分の考えをまとめたりする」ことについては課題が見られます。

#### 【算数】

#### ◆3年前の課題

・基礎的な知識・技能の育成  
「四則計算」の定着

・筋道を立てて、学習したことを活用する力の育成

#### ◆成果と課題

計算の順序やきまりを理解することに課題が見られ、基礎的な知識・技能が十分に定着しきれていない実態があります。また、学習したことを活用したり、見通しをもって考えたりすることに関して課題が見られます。

#### 【理科】※今回が初実施

知識に関する領域について、全国、県の平均正答率を上回っています。これは、学習した内容が定着しているという表れと捉えています。一方、学習したことを活用する領域については課題が見られます。

